



歐米在留中の所感

齋藤清太郎

私が獨のベルリンに滞在中でした、宿所の近邊にピアガーデンと云ふ公園がありましたので食後には何時も散歩することに極めて居りました此公園は日比谷公園の様に全然人工に因つて出来たものではなくて、本來が大きな森林であつたのを公園にして其森の中へ縦横に道を付けた丈ですから散歩には此上もない持つて来いと云ふ恰好の所でした。處が此公園には小兒が澤山方々から集つて参ります。何故澤山集つて来るかと云ふと此處には至極面白い小兒遊び場が出来て居るのです。そ

れは何かと云ふに、廣さは百坪ばかりの土掘り場であります。全体を少し掘り下げて中には砂と土と交ざつた掘り易い土を入れて小兒が勝手次第に掘ちくり返すことの出来る様にしてあります、そして幾分の濕り氣が與へてある様であります、そして又其周圍には小兒を連れて來た保姆や子守の休む爲めに大きなベンチが幾つも並べてありますので小兒の遊ぶのを見ながら是等の人は編物や裁縫をして居ります。

是は誠によい思ひ付きであると思ひました。後に佛國のルクサレブルグの公園に往つた時などには是等の設備を何處にも見出すことが出来ないものですから小兒は何をして居るかと思ふと皆道上の砂を骨を折つてかき集めてそして砂遊びをして居ましたので彼に比べて可哀相に思ひました。

それから此ピアガーデン公園の傍に一つの動物園があります。私は此處へも屢々参りました。此動物園は亦小兒の爲めに特別割引をして。月極め

などに仕様ののなら殊に安い入場料で見せますので澤山小兒が来て居ます。そして此中にも例の土掘り場があります。此方は前のよりは一層よいので廣さは矢張り百坪ばかりの處を此處は二つに仕切つて一方は小さき子供こどもの土掘り場一方は稍大きな五つ六つから十位迄の小供こどもの土掘り場とし三方は壁で屋根があつて雨が降つても遊べる様になつて居ます。其上の三方の壁には畫がかいてありました。何んな畫かを見るとグリムお伽話の中カラー色々面白いのを書きぬいたのでありました。是などは最もよい思ひ付きではあるまいかと思ひます。小兒は遊びの間に自然に畫とを求めて面白き有益な話を聞きて樂しむことが出来るし子守の若きものなど時には利益することがあるに違ひないし。出来るなら我國にも欲しいものであります。

次に感かんたのは動物の飼方です、例へば駝鳥を飼つてゐるのに其小屋はと云ふと其駝鳥の產地たる

十二
亞弗利加エジプトの古代の建築風を表はし壁畫もあると云ふ風にし向の奥の方には油畫を掛けメモンの石像などがあつて全体パノラマ仕掛となつて居ると云ふ具合で如何にも教育的であると思ひました。併し果して教育上に應用す可きものなるか否かは判りませんが兎に角感じたからお話致します。

それから佛國滞在中に感じたのは到る所何處の公園に行つても、人形芝居が頗る盛んなのには驚く位です人形芝居と云ふと大伽藍ですが一寸一坪ばかりの小屋掛の中で小さな人形を色々いろくと躍りして十サンチウム（我一錢位）で見せて居る。小供は之を見てキャツ／＼と云つて悦んで居るのです。それで私が感かんじましたのは此人形芝居の脚本にお伽話を使つたら至極妙なものではなからうかと思つたのです。

まあお話するものはそんなものですね。